

# 望星西新宿診療所

## 防災マニュアル（患者様用）

### 目次

1. はじめに	1
2. 都心南部直下地震（M7.3）の災害想定	1
3. 平時での災害対策	2
4. 透析時間外に災害が発生した場合	5
5. 透析時間内で災害が発生した場合	6
6. おわりに	9

# 1. はじめに

当院の防災設備上、災害が発生しても余程のことがない限りビルの倒壊や大火災には至らず、緊急避難とはなりません。

透析設備に問題がなければ透析を続行し、ご自宅と帰路の安全が確認できれば帰宅となります。  
(但し、自宅や帰路に危険が生じる、移動手段が確保できない等の場合は、院内に待機となります)。

しかし想定を超える災害が発生すれば当院も安全とは言えず、緊急避難を余儀なくされます。  
そのためには、皆様が災害について関心を持ち、日頃から正しい知識を身につけていきましょう。

## 2. 都心南部直下地震 (M7.3) の災害想定

都内で最大規模の被害が想定される地震です。

建物被害は 194,431 棟、死者は 6,148 人と想定されます。

被害内容	被害想定	復旧完了日数
火災	出火件数は最大 623 件、消失棟数は最大 118,734 棟	
津波	都内の河川および海岸の堤防を超える高さではない	
電力	停電率は最大 11.9%	約 4 日後
通信	固定電話不通率は最大 4.0% インターネットは停電率に伴い不通	約 4 日後
上下水	上水道…断水率は最大 26.4%	約 17 日後
	下水道…被害率は最大 4.0%	約 21 日後
ガス	供給停止率は平均 24.3%	約 6 週間後



東京都被害想定マップ (<https://www.higaisoutei.metro.tokyo.lg.jp/eqmap/eqmapgis.html>)

### 3. 平時での災害対策



#### ①家族で災害時の対応について情報を共有しましょう

- ・自分がどこで（透析施設）、いつ（透析開始・終了時間）透析を受けているか改めて家族と共有しましょう。
- ・家族との連絡方法や集合場所を確認しましょう。
- ・透析に行く途中で被災した場合は、自宅に戻らず透析施設に向かうことを家族と確認しましょう。

#### ②自宅で被災した場合の避難先と連絡方法を確認しましょう

透析施設名	望星西新宿診療所
主治医氏名	院長 中尾 俊之
施設電話番号	03-5304-5655
施設住所	東京都 新宿区 西新宿 3-12-12

#### ③防災マニュアル（本誌）を確認しましょう

#### ④下記の点について日ごろから心がけましょう

- ・緊急時持出品の点検、置き場所の確認
- ・家の中で安全な場所の確認
- ・家の周囲の安全確認
- ・避難場所、避難所、避難道路の確認



#### ⑤履物について

- ・日頃から歩きやすい履物で透析に通いましょう。
- ・夜間、自宅で被災した場合に飛散物で怪我をしないよう履物を手近に用意しましょう。

#### ⑥緊急持ち出し物品の準備をしましょう

- ・平時から常備しておくもの…災害時透析患者カード

※災害時透析患者カードは年に3回更新し、お渡いたします。

破損や紛失した際はすぐに再発行いたしますので、透析室スタッフへお知らせ下さい。

書類関連	保険証、マイナンバーカード、各種医療券、身体障害者手帳、おくすり手帳
薬関連	内服薬、災害時用高カリウム血症治療薬、絆創膏、救急セット
飲食物	飲料水（ <u>透析患者は1日750mLが目安</u> ）、非常食（ <u>透析保存食など</u> ）
情報収集	携帯電話、ラジオ、予備電池、モバイルバッテリー

災害時透析患者カード

みりな	しんじゅく たろう			性別
氏名	新宿 太郎			男
生年月日	年齢	血液型	Rh	
明治38年4月28日	113	A	+	
私は現在、慢性腎不全のため人工透析を受けています。緊急時は、下記の連絡先または医療機関に連絡をお願い致します。				
現住所		自宅TEL		
緊急時連絡先①		続柄	TEL①	
緊急時連絡先②		続柄	TEL②	
主治医				
望星西新宿診療所 院長 中尾 俊之				

透析条件

透析スケジュール	ドライウェイト	フラボアクセス
月・水・金	66.6 kg	左前腕
透析時間	ダイアライザー	血流量
4.0 h	MFX-15Meco	150 ml/min
抗凝剤	初回	持続
ヘパリン	500 μ	500 μ/h
感染症	原疾患	
なし	DM	
アレルギー・禁忌	ADL	
なし	自立	
備考 I-HDF施行		

記載日 平成31年3月4日

医療法人社団 松和会 望星西新宿診療所

東京都新宿区西新宿3-12-12 TEL 03-5304-5655  
FAX 03-5304-5680

月・水・金 9:00 ~ 19:30

火・木・土 9:00 ~ 15:30

※診療時間外の緊急時は03番通報をお願いします。

⑦居住している市区町村や保健所の災害対策について調べましょう

新宿区…<https://www.city.shinjuku.lg.jp/anzen/index03.html>



渋谷区…<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/bosai/>



中野区…<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/bosai/index.html>



杉並区…<https://www.city.suginami.tokyo.jp/anzen/saigai/index.html>



## ⑧通院・移動方法の検討

- 災害時は公共交通機関や自家用車が使用できなくなります。他の通院方法の検討をしましょう。
- 送迎車を利用の患者様には送迎が可能かご連絡いたします。
- 東京都被災状況が甚大な場合、他県で透析を行う可能性があります。

## ⑨災害時伝言ダイヤル

災害時は「災害時伝言ダイヤル」によって患者様に連絡を行います。

再生方法

- 災害時伝言ダイヤル「171」を押す
- 「2」を押す
- 「03-5304-5655」を押す
- 伝言ダイヤルセンターに接続。
- 「1→#」の順に押す（※繰り返し確認をする場合は「8→#」）

※この際に伝言を残しますかと聞かれますが、過去の伝言から削除されていくので**絶対に伝言を残さないようにお願いします。**

NTT 東日本 災害時伝言ダイヤル…<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>



## 4. 透析時間外に災害が発生した場合



### ①安全性の確保

- ・自分のいるところが安全か確認しましょう。  
自宅であれば倒壊・火災などの恐れがないか確認しましょう。
- ・周囲の河川の氾濫や土砂崩れ、火災の発生がないか確認しましょう。
- ・自分で安全が確保できない場合は避難所への避難を検討しましょう。

### ②透析医療機関との連絡

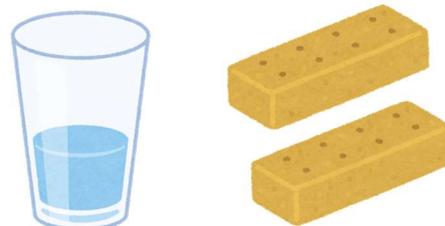
- ・当院へ連絡し、透析可能かご確認ください。当院からもご連絡を差し上げます。
- ・当院と連絡がとれない場合は、災害伝言ダイヤルの確認や避難所や医療救護所の医療従事者に相談してください。
- ・**災害時透析患者カード**は避難所などの医療従事者にとっても必要な情報源です。  
常に携帯しましょう。

### ③避難先での対応

- ・自宅で安全が確保できない場合には緊急持ち出し物品を準備し、避難所等に避難しましょう。
- ・避難所の医療従事者や責任者に透析患者であることを伝えましょう。

### ④食事の管理

- ・透析患者様は平時においては水分を控えることが大切です。しかし夏場の被災時には脱水症状が予想されます。過度な水分制限をせず、適正な水分摂取を心掛けてください。
- ・被災時でも可能な限りしっかり食べましょう。カロリーが不足すると筋肉が分解され、尿毒症と高カリウム血症の発症率が上昇します。
- ・救援物資や避難所で支給される食事は通常食です。  
タンパク質、塩分、カリウムは意識して控えましょう。



### ⑤薬の管理

- ・薬には2～3日飲まなくてもすぐに影響が出ないものと、飲まないと早期に影響が出るものがあります。  
早期に影響のある薬は欠かさず飲まなければなりません。  
日頃から服用中の薬を把握しましょう。
- ・糖尿病の患者様は血糖値の管理が必要です。  
インスリン注射や服薬方法について、日頃から主治医の指示を受けましょう。
- ・被災時に主治医に連絡がとれない場合は、避難所の医師に相談してください。



## 5. 透析時間内で災害が発生した場合

### ①地震が起きた場合

- どんなに大きな揺れも十数秒で必ず収まります。慌てずにスタッフの指示に従って行動してください。また、ベッドから落ちないように柵につかまりましょう。
- 布団を頭から被り、蛍光灯などの落下物を防ぎましょう。
- 待合室やロッカーにいる場合は身近なもので頭を守り、物が倒れてこない場所にしゃがんで揺れが収まるまで待ちましょう。

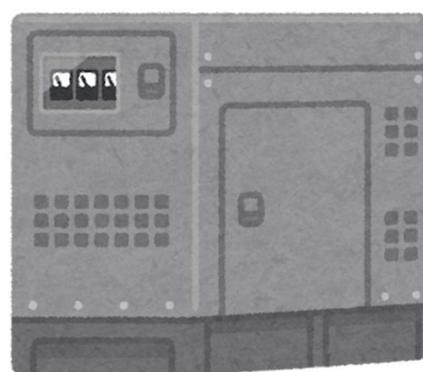
### ②火災が起きた場合

- 透析からの離脱と避難が必要になる場合があります。慌てずにスタッフの指示に従って行動してください。
- スタッフが出火場所の確認や初期消火活動を行います。煙を吸わないようにタオル等で口元を覆いましょう。



### ③停電が起きた場合

- 夜間帯は真っ暗になる場合があります。慌てずにスタッフの指示に従って行動してください。
- 当院の透析装置は屋上に設置している自家発電装置により電源供給が行われるため、停電時でも透析の継続可能です。



#### ④透析の中止

- 透析中止および避難の必要性がある場合は回路からの離脱を行います。  
基本的には通常の返血後に回路からの離脱を行いますが、  
緊急で避難する場合は血液を残したまま離脱する可能性があります。

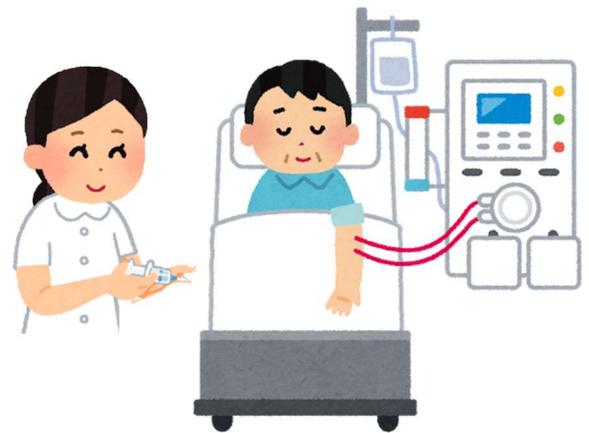
- 当院の緊急離脱方法（状況に応じて下記から選択します）

- a) 穿刺針を抜き、止血ベルトを巻く方法。
- b) 穿刺針を抜かず、キャップをする方法。

※緊急離脱セットは、各ベッドにひとつずつ常設してあります。



- **自己抜針は多量の血液を失う可能性があり大変危険です。**  
スタッフが必ず離脱作業に参りますので、落ち着いてお待ちください。



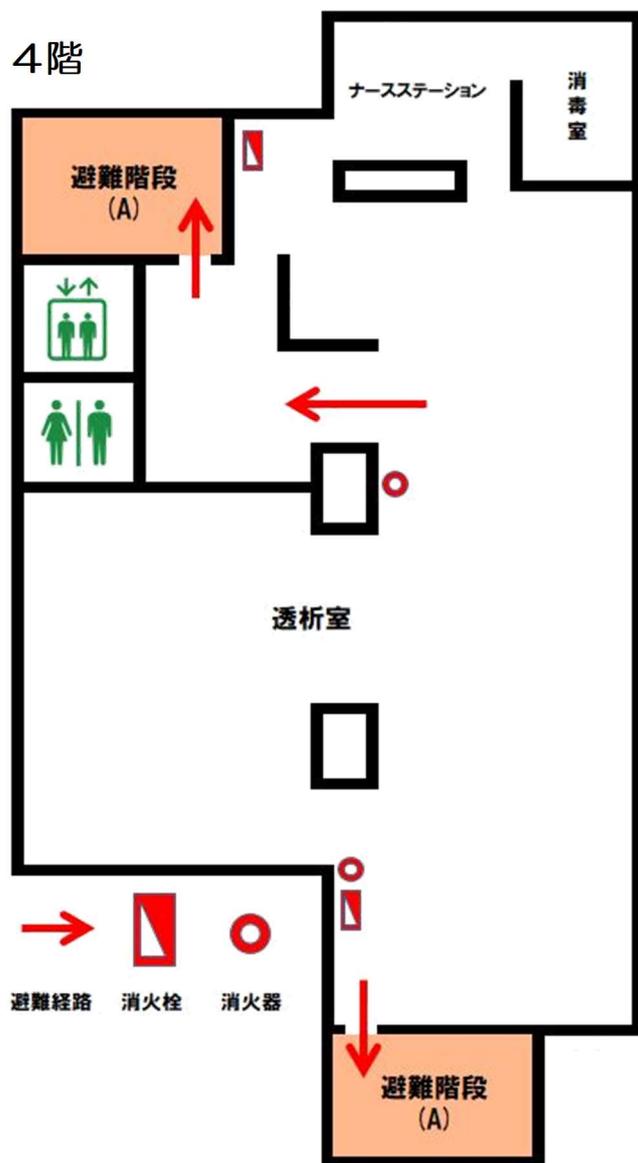
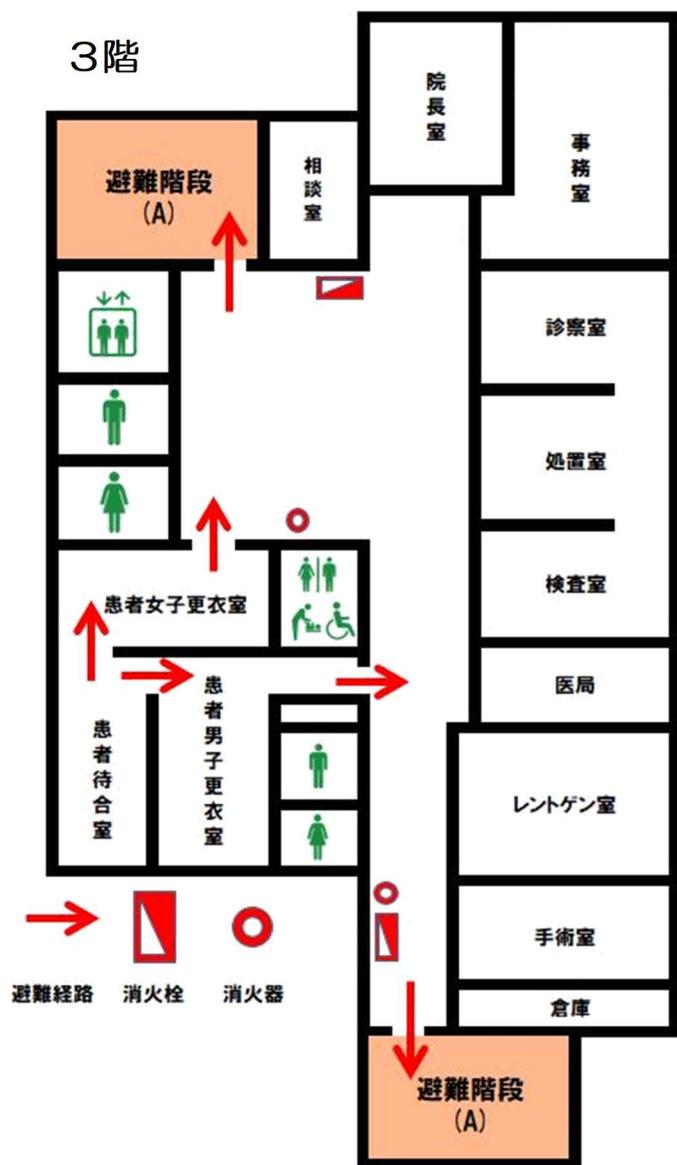
#### ⑤避難方法

- スタッフが状況を判断し、避難誘導をします。  
スタッフの指示に従って落ち着いて行動してください。
- 緊急避難時は、荷物は置いていくことになります。貴重品は当院にお持ちにならないようお願いいたします。（お財布等どうしても必要なものは、なるべく携行するようお願いいたします。）
- 必ず履物を履き移動しましょう。地震の場合はガラスなどが飛散している可能性があり、怪我をする危険があります。
- 火災の場合はできるだけ身をかがめ、煙を吸わないようにタオルなどで口と鼻を覆ぎましょう。
- **非常時はエレベーターが止まる危険性がありますので、絶対に使用しないでください。**

※当院は、地上までの避難器具として救助袋（避難用滑り台）と  
EVAC+CHAIR（階段避難用車椅子）を設置しています。

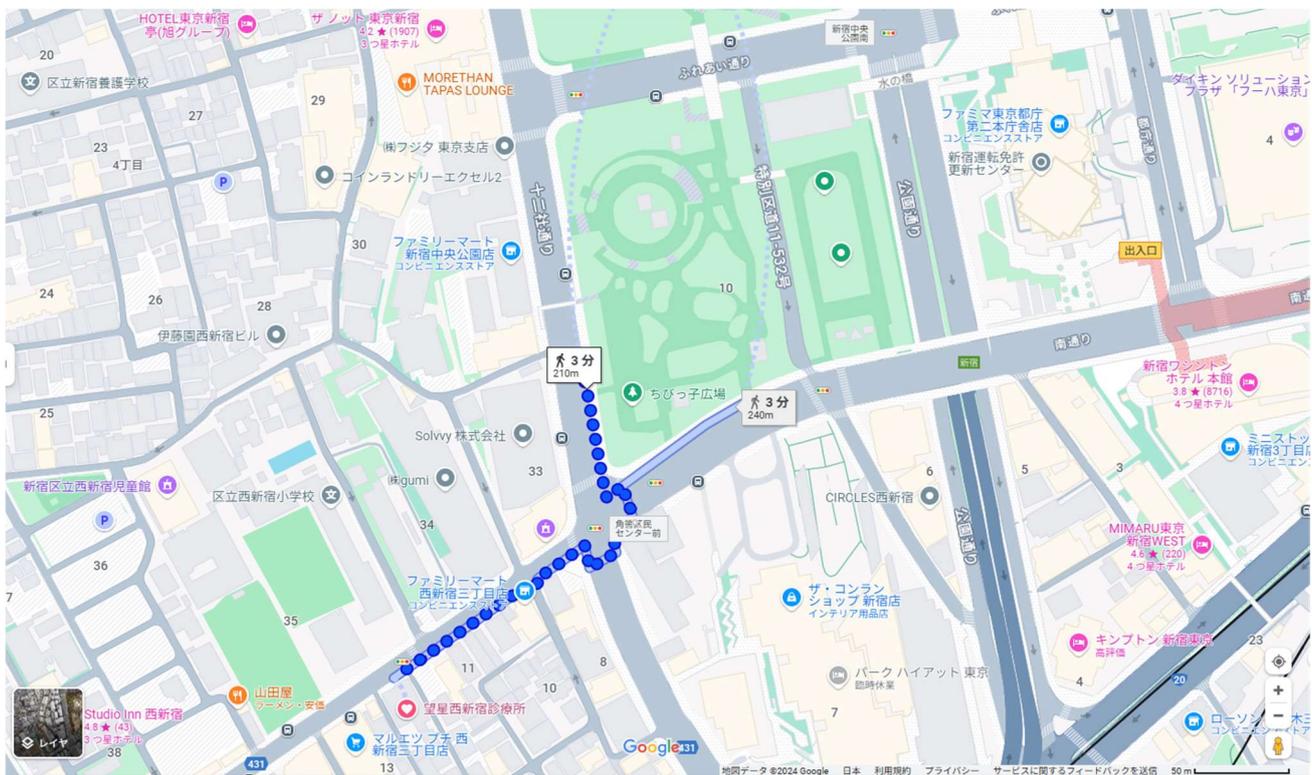


⑥避難経路



## ⑦避難場所

- ・最も近い『新宿中央公園・高層ビル群一帯』を選択する場合があります。



## ⑧帰宅

- ・自宅と帰路の安全確認および移動手段の確保ができた場合は帰宅となりますが、次回透析予定など今後の対応をお知らせいたしますので、帰宅の指示が出るまで待機しましょう。
- ・災状状況により、帰宅せずに避難所へ移動し待機となる場合があります。

## 6. おわりに

当院は『東京都区部災害時透析医療ネットワーク』に参加しています。災害発生後に当院が治療不可能な状況となっても、近隣の災害拠点病院や治療可能な透析施設と連携して共助する体制が整備されています。

ご自身の安全を確保することができれば、必ず透析は受けられます。

しかし、被災時には透析日の変更や透析時間の短縮、薬の不足など多くの困難が予想されます。日頃からしっかりと自己管理を心掛けましょう。

本マニュアルをご一読していただき、もしものときにしっかりと行動できるよう備えていただければ幸いです。

※当院は新宿区でも有数の自家発電機と貯水槽を備えている災害時に拠点となる医療機関です。

災害時に透析を行うことができない他施設の患者様を受け入れる可能性がございますのでご了承ください。

※災害時には生命の維持に関わる介護を除き訪問介護、通所リハビリテーションは休止となります。